

地域の団結力 印象に

大東で1年 協力隊活動振り返る
西田さん

2020年報知を!



長田副市長(右)に活動を報告する西田さん

「初めてのことで戸惑ったが、皆さんに優しく支えていただき、いろいろなことを勉強できた。地域のコミュニケーションや団結力の強さなど感じたことを生かし、東京に帰ってからも頑張りたい」と語った。

緑のふるさと協力隊として、2015年4月から一関市大東町大原の下内野地区で生活してきた西田彩音さん(24)は、京都八王子市出身が9日、退任あいさつで市役所を訪れ、経験を今後に生かすことを誓った。

西田さんは1年を通して田植えや稲刈り、脱穀といった稲作作業、野菜栽培などに取り組んだほか、太鼓団体への参加、地域行事の運営協力などを通じて住民と交流した。

同日は長田仁副市長らにこれまでの活動を報告

期待する」と激励した。同隊は、農山村に興味を持つ若者が、地域再生に取り組む地方自治体に暮らしながら地域密着型

の活動に携わるプログラム。西田さんは同日で一関を離れ、10日から都内で行われる総括研修で活動を報告する。